明治四十一年三月二十七日第三種郵便物認可（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年四月八日（木曜日）　第七十七號　（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●澤田局長の演說（三）

▲任日本人主事に對して

以上の外尙は一二附言を要するものあり

（イ）秩序ある官吏社會に於て成効の秘訣は勉强に在り左まで敏腕ならざる人の能く其地位を保ち得るは畢竟勉强を以て上官の同情を買ふに外ならず或は敏腕にして精勤ならざるもの亦能く其地位を保ち得ることありと雖も如此きは非常の人に求むべく普通一般の場合に於ては勉强を以て多少の缺點を補ふことを務めざるべからず

（ロ）事務を親切丁寧に處理することも亦甚だ必要なり擔任事務は之を自己の仕事とし自己の責任として丁寧親切に處理すべし唯上官の命ぜられたる所のみを冷淡に處理し能事終れりと爲すが如きは實に憂ふべきなり勿論諸君は赴任後直に主任として事務の衝に當ること無からんも苟も事務の擔任を命ぜられたるときは此心得を以て從事せざる可らず然れども上官の人と爲りに依り單に事務上の大綱を指示し細目に至りては下僚の處理するに任することあるべく或は其細目に涉りて親ら指示することもあらん故に諸君が事務に從事する場合に於ては宜しく此間の消息を會得し臨機應變屈伸自在ならざるべからず活社會に於て活事物を處するに當り千遍一律些の變化なきは到底競爭場裡の劣敗者たるを免れざるべし

（ハ）諸君も既に約一年間地方局に於て事務を見習ひたれば一と通り執務の順序方法を了解したるならん尙は疑の存する點は赴任までに充分研究すべし地方に出で一々上官の指揮を受くるにあらざれば些細の事務とも處理し能はざるが如きは遂に上官の疎外を受くるの因たるべし又既に官吏たる以上は全力を盡して忠實に執務せざる可らず故に事務の分量に付ては其多きを厭ふべからず上官より多くの擔任事務を分配せらるゝは之れ自己の名譽なりと心得べし

（ニ）地方に在任する時は共に研究するの人もなく疑を質すの人もなく人に敎ゆることあるも人より學ぶことは少く遂に其進歩發達を止むるの弊あり是れ諸君が一身上の事なれども能く注意を加へ常に眼界を廣くし閑時に以修得したる知識を練磨すると同時に他の新智識を吸收することを務めざる可らず否らざれば不知不識の間に心身共に田舍漢に類化し狹隘なる人物に終るの恐れなしと云ふ可らず之を防ぐが爲めには常に讀書を怠らず學問雜誌等に付て研究し修養を勉めて日進月歩の社會に後るゝ勿れ

（ホ）韓國傭聘官吏の動作に付ては韓國に於ても又日本內地に於ても種々の批難ありと云ふ依て諸君は公私に拘はらず篤く注意を加へ苟も他より批判を受くるが如き行爲あるべからず諸君は年尙壯にして將來大に發展せざる可らざる機運に在るものなれば目前の小利に齷齪し秋毫も陋劣の擧動あるべからず宜しく品性の高潔を保ち立派なる態度を持し他人の侮蔑を受くることなく又韓國人に對しては常に指導の任に任ることを忘れず所謂る「親切なる敎師」「慈愛ある同胞」を以て自ら任ずると同時に韓國は我日本の保護國たるを忘るゝ勿れ（完）

文苑

●人を律す　獨六

僕は政治の事などにたづさはるのは大嫌ひだ從つて是等の事に就ては更に趣味が無い然らば何物に趣味を持つて居るかといふとまづ文學である文學と來たら殆んど眼が無い併し文學なぞを遣つて居つた日には飯が食へないから意志で制して可成親まぬやうにして居る尤も政治でも飯は食へない其の點に於ては何ち等も同じだ所が僕の兄哥が政治が好きで毎時僕の事をケナして居る伽落多文學に從事して何うなるかと、衆く癪に障る之れ自己を以て人を律するものだ

●太陽熱の利用　片々

村井弦齋居士が日の出島に於て大陽燈の發明者石橋博士を假擶したが、今度英國のエスコーツと云ふ發明家は太陽の光線を引きて電燈を點ずる器機を發明したと云ふことだ、所謂太陽燈が現實しかゝつてきた、物質界の進歩も實に驚くではないか空想も決して空想でなくなる、此分で進歩すれば月界旅行も廿世紀の終末頃には事實とならないにも限らない、偖そこで日本でも弦齋氏の假擶した石橋博士の樣な人物が出て來て太陽燈や月界旅行を現實にしたらば夫こそ日本は豪いものになる、戰爭をして勝つよりも歐米人を吃驚させることが出來るであらう、然るに日本では戰ひの勇者は多きも此種の發明家は乏しいようだ、近代の文明は此種の發明家に負ふ所多し、政府は特に發明家を保護するの方法を講ずることが必要であるまいか

新刊紹介

▲立身訓　全頁二百八頁菊版の冊子なり內容は小學校卒業生の爲めに大隈伯外十七大家の意見を徵し之が將來に於ける規箴を揭げたるものなり而して十八大家の規箴たる題號は大隈伯の「國民と敎育」尾崎行雄氏の「學問の心得」和田垣博士の「共同讀書法」鎌田榮吉氏の「確平不拔の精神」と加納治五郎氏の「精神の修養」高田博士の「通信敎授の効果」坪內博士の「學校以外の敎育」浮田博士の「少年と獨學」井上博士の「苦學の危險」藏原代議士の「少年の危機」江原素六氏の「人物と境遇」手島博士の「才能と學業」矢野博士の「適切なる智識」澤柳文學士の「中學敎育の現狀」島田代議士の「學生の本領」棚橋絢子女史の「修學の注意」三輪田眞佐子女史の「目的の選み方」下田歌子女史の「實際と空想」等なり（三十五錢東京神田駿河臺東京國民書院）

●●貿易　演說欄には大浦兼武氏の「貿易業者に望む」論說には別府丑太郎氏の「日英博覽會に就て」矢野恒太氏の「國力發展と敎育」等其の他時評欄、調査、通信、外報一束、雜俎欄等何れも有益なる文字のみを以て埋め居れり（十卷三號十錢東京々橋宗十郎町日本貿易協會）

佐倉宗吾（四十八）　眞龍齋貞水講演

此方は川越播磨、堀田家の役人に吩咐け堀田原御屋敷御門前に在る、御出入の酒屋、魚屋、夫れから八百屋等へ申し付け、一同の百姓をそれ〲呼出しまして、是から御湯付を御手當を下し置かれる　役人「コレ〱、佐倉領の百姓共　百姓「ヘヽッ　役「[illegible]令、川越播磨樣、堀田大和樣が仰せられには、其方共も斗僻から長い間門前に控へ居つて、定めし空腹であらうから、御湯付を食べさせよとの御意である、左樣心得て宜からう　百「ハアー、有難うございます」と、一同の者が云つたばかり互に顔見合せて居る　役「遠慮には及ばぬに依て、頂戴しろ」それへちやんと御手當をして、皆な御湯付を装へ、出して下さる、御用達の町家の者も、御屋敷から吩咐かつたのだから　町人「申し貴下方、御遠慮なさらぬで、召上れ

斯うして御役人樣が吩咐けて、下し置かれましたから、召上つて下さい　百「ハア、有難うございます」ハア有難うございますと云つて居るが、何人も遠慮して食はぬ、米搗バッタのやうに頭ばかり下げてゐる、百姓の料見では、宗五郎どんがまだ、出てござらつしやらぬから、事に依つたら宗吾どんは、首でも斬られたのではないか牢でも打込まれたのではないか、而して俺達に、御湯付と云つて、此中へ毒でも入れて、食はせるのに違へねえ、何でも然うだと思ひ、初めは更に箸を把る者がなかつたが、其內に腹が減て居るから、咽喉から手が出さうに成つた、勘らなく成つたから「ナアニ仕樣がねえ、毒が入つてゐたら死んだら死んだまでの事だ、俺一人で死ぬのでねえ、皆なが死ぬ、だから、冥途の旅へ一緒に逝くのだと思ひ　百「ハヽ御馳走でござります、頂きます　町「希それ食りなすつて下さいまし」それから頂くと、米の飯ではあるし、腹が減つて居る所だから二杯三杯、五杯六杯、中には十八杯も食つた者がある、江戸の人は、百姓なんで食うもんだと驚いた、幾ら百姓だつて、食ふと極つて居らぬ、腹が減つてる所から、無樣に食つたのでありませう　百「ア、有難い、眼が眩つて打倒れる所だつたが、是なら如何な事がありましても大丈夫だ」なんて、何人の家でも百姓が皆な悅んで頂戴いたしました、そこで一旦宗五郎に仰せられました通り、一同御湯付の御手當に成つたに依て「然らば其方共に於ては是から麻布古川の下屋敷へ罷り越せ、御上から、出入の町人に、萬事は申し付けるから左樣心得て宜からう」誠に有難うございますと涙を流して引揚げることに成りましたが、續いては淺草觀音樣へ參詣として御禮を申し上げた後、麻布の古川の御屋敷へ罷り越す事に致さうと云ふ事に決りました、と云ふのは、此御願いが、成就いたしませぬければ、活きて再び國へ歸り、故郷の土は踏まぬと、前席にも申しました通り淺草の觀音樣へ、斷願を籠めました、然るに今御願いが御採り上げに成りましたから是ひとへに御利生なる大悲大慈の御佛の御蔭である、此上は飽迄も願意の貫徹を祈らうと云ふので、再び觀音樣へ詣る事に成りましたのであります、そこで一同は、御屋敷を下りまして、是から出掛けやうと云ふ所へ、宗五郎が歸つて來まして、　宗「さて御一同」と云つた時に、イヤ一同は喜んだの何の　甲「エー宗五どん、如何なさいました、御無事でござりました　乙「宗五どん御首尾は如何でございました」と縋りますから　宗「エーマア有難い事に、堀田大和樣が御採り上げになりました、大和樣は御年齡は若いが、御仁政を御執り遊ばす方は、また格別、御言葉遣でも和易で、吾々へ對して種々、御情けの御言葉もありましたから、大抵マア此願ひは、成就する事でございませう　丙「然うでございますか、ア、有難い」と、正直一圖の百姓だから、有難涙にくれる、兎に角淺草觀音樣へ、御禮詣りを致しませうと、是から續々うち揃へ、淺草觀音樣を指して參りました

英殖民地の元氣

英國殖民地は如何
●軍艦寄附の申込●

英國政府が海軍擴張を企劃し大戰艦ドレッドノート型八隻を新造するの案を議會に提出するや、世界列國の耳目は一齊之に集注せられ意外の大問題となれり、英政府が此案の通過を計らんが爲め或は他の理由ある事を知るべからざるも獨逸海軍の勃興及其優勢を說きたる爲め殊更に列國の注意を喚起するに至れり、海軍擴張は現代の大勢なり、[illegible]獨逸海軍の大勃興、其他[illegible]等を見來れば、由來[illegible]英國が之に應じて[illegible]り當然なりとす、[illegible]軍擴張に就ては何[illegible]英國海軍の擴張に[illegible]は英國殖民地の元[illegible]戰爭を開始するや[illegible]したりし殖民地[illegible]放つに至れること[illegible]ッドノート型戰艦一[illegible]し、加奈陀に於て[illegible]は如何なる犧牲を[illegible]明し、遙羅及東洋[illegible]海軍擴張費の幾分[illegible]國政府になせりと[illegible]米國と殖民地狀態[illegible]感なきに非ず、英[illegible]に於て余輩殖民地[illegible]の保護を目的とす[illegible]爭と同一に論ず可[illegible]對して斯る元氣な[illegible]に於て余輩殖民地[illegible]するは恰も隣家の[illegible]民地の發達を羨慕[illegible]余輩は其間に於[illegible]开は殖民地と祖[illegible]に於ける自治の精[illegible]民地に於て祖國の[illegible]於ては祖國に對す[illegible]ざる也、亦官憲の[illegible]なくんば祖國に對[illegible]せざる也、殖民地[illegible]盛ならしむるにあ[illegible]利亞に對する殖民[illegible]ける殖民政策が如[illegible]置きたりしや、若[illegible]官憲萬能を振り廻[illegible]るに於ては到底今[illegible]を思ふて韓國に於[illegible]轉た感慨に堪へざ[illegible]すべき官憲萬能の[illegible]任十五万の邦人は[illegible]發表するの機關を有せず、一も二も總て官憲の命ずる儘也、當局者が韓國經營をなすに於ても十五萬の在住邦人を眼中に置かざる傾向あり、殊に其首腦たる統監には今尙ほ多數の移民を入るゝに反對せりと云ふに非ずや、斯の如きの政策を以ては到底移住民に自治精神の旺盛を見る能はず、余輩は一日も早く官憲万能の舊式政策を革めて寛大なる殖民政策を取り自治的殖民地となし、近き將來に於て英國殖民地が本國に勢援せるが如く祖國に向て勢援を與ふるの域に達せん事を切望するものなり

東京電報

▲韓國沿岸警邏 韓國沿海漁期近づきたれば軍艦千早は水雷艇數隻と共に沿岸を警邏するの任に當るべし

▲トロール漁業の取締 トロール漁業取締規則發布さる對州沿岸は其の禁止區域なり(六日夜發)

▲寺內陸相訓示 師團長會議を本日參謀本部樓上に開く寺內陸相より國防計畫用兵警員に關する訓示有たり

▲外國語の不要 四十三年度の判檢事第一試驗辯護士試驗に付外國語を要せざる事となる

▲トロール奬勵金 トロール禁止區域は漁族漁村を保護する目的にて制定されたるが奬勵金は依然として給與さる(以上七日發)

外報一束

●波斯帝の意嚮 露國ノヴオエ、ウレミヤ新聞の在テヘラン通信員の報道する所によれば波斯皇帝は英露兩國が皇位及皇帝一身の安全を保證するにあらざれば憲法の許容を拒否すべしと

●不法なる要求 淸國は安奉沿線に日本警察及び守備隊の撤退を要求し來りたるが小池總領事は北京協約第六條及び安奉線は滿鐵の支線なりとの理由の下に斷然之を拒絕したり然も淸國側はこれを承認せず同鐵道改築協議は此問題の爲め長引くならん

●南阿の和蘭民 南阿プレトリアに開催せられつゝある南阿立法會議に於てボータ將軍は今回制定せらるべき憲法に於て英帝國の誇るべき臣民として和蘭民族に對し豫て約されたる平等權の與へらるべきを述べたり

●自由貿易反對 比律賓撰出代議士デレオン氏は米國議會に演說し討議中の比律賓自由貿易は同地政府の歲入を減少し豫算を顚覆し政府を破產に陷るゝの虞あれば土民はこれに反對すと云々と述べたり

●鐵道工事竣功 西伯利亞鐵道及び黑龍鐵道工事竣功は其現狀より見るに千九百十三年若しくは十四年なるべし

●極東太守設置 露國政府は豫て風說ありし極東太守及び觀察使を設置するに決定せりと

●總稅務の後任 ロバート、ハート氏の賜暇期限は今月を以て完了することゝて總稅務司の後任問題論議され居れりハート氏の歸任するや否やは不確定なり

雜報

●二法案の通過 屢々報導したる道及府郡及び面の廢合に關する規則及び地方費の經濟に屬すべき財產の管理處分に關する規則の兩法案は六日の內部法令審査委員會に於て原案に修正を加へて通過したる由なれば不日閣議に上るべしと尙昨は巡査休暇規程、警視警部、特別任用令に就き審査せし筈なり

●東拓重役の氣焰 ●驛屯土引繼內情● 東洋拓殖會社が韓國政府に與へたる六萬株に對して同政府が驛屯土田五千七百町歩畑五千七百町歩を以て拂込をなすべしとは同社定欵第十條の定むるところなるも开は只に表面の事にて內情を知らざる世人が東拓の大欠損などゝ噪ぐは無理もなきことながら實際に於ては東拓が韓政府より受取るべき驛屯土は田畑を合せて約三萬町歩に達すべきが故に會社は決して欠損などを受くるものにあらずと東拓某重役は新聞紙の非難に對して氣焰を吐きたる由

●東拓の大失態 東洋拓殖會社に對し、韓國より提供せる驛屯土の價格は一町歩三百六十圓の見積にて計算せられ、當時其高價に失せるを論爭するものありしも事情に通せざる多數は遂に其儘之を受くるに決したるが今回役員一同渡韓して調査に着手せる結果は、一町歩の時價漸く百五十圓位にて提供價格、實に其二倍以上に達し居れるを發見し今更の如く此の大失態に呆然たる許りなりと云へるが其損失額を如何に安く見積るも、總計百五十萬圓を下らざるべき計算なれば、五月の總會には一紛擾持ちあがるべしとて、幹部昨今の苦慮外間の想像以上に甚しと傳へらる(萬朝報)

●驛屯土と大朝 驛屯土標準價格で、モウ大味噌をつけてゐるが、會社の重役も之を否認し得ず、最初糲米一石二圓五十錢の相場で、一段歩の價格を割出したが、今では四割方下落したから、結局百二十万圓の損をしたのだと言つてゐる實に怪しからぬ話で土地價といふものは米相場ではあるまいし、一年々々にさう變動するものではない、現に在韓日本人が土地を買ふのに昨年でも今年でも少しも高低はないのだ、今の普通相場が一段歩十圓か十五圓だが昨年でも之より高くはなかつたのだ斯ういふ大失体をやるのも最初創立委員が韓國の事情に暗かつたからだ、居留民で相當に財產もあり地位もあるものもあるのに、一人も創立委員に擧げず、在韓の日本人といつては只二三人の會社員や役人許りを委員にしたから、斯ういふことになつたのだ、一百二十万圓の損失、之も經濟界の大問題だ

●帝室の債務審査會 帝室財務審査會は明日度支部次官室に開會し佐々木會長代理以下各委員列席審査殘りの帝室財務の審議をなすと

●養蠶傳習所の增設 農商工部は蠶業の普及奬勵のため大邱、平壤、咸昌、春川の蠶業傳習所及び龍山なる大韓婦人會附屬養蠶講習所等に技師又は技手を平時派遣し或は指定教師を置き且つ年々若干の補助金を與へ其の地方に於ける養蠶に從事せる者及び將來從業せんとする者を收容して其の方法を傳習し卒業後は傳習所と連絡を取らしめ以て地方蠶業の改良普及を圖り居れるが本年度に於ては尙數ヶ所の傳習所を增設せしむる筈にて目下計畫中なりと云ふ

●大成宗教會の組織 中部後宮洞の儒生李芯和外三名は今般大成宗教團なるものを組織し十三道の儒生と氣脈を通し頹廢せる儒教を挽回し以て大に異教を防壓する目的の由なるが是れには某日本人が後援として關係し居れりと云ふ

●平壤鑛業所の擴張 平壤鑛業所は過日木內農商工部次官和田維四郎氏に托して無烟炭鑛脈其の他の調査をなしたる結果同氏の意見により大擴張をなすの計畫あり目下鑛務局に於て此れが設計其の他に付調査研究中なりと云ふ

●大監獄署建築決定 法部は今年度に於て京城、平壤、大邱の三箇所に大監獄を建築するに決したる由なるが京城監獄は工事豫算約三十万圓にして千五百人の囚人を收容するに足る模範的のものとし平壤、大邱の兩監獄は各七萬圓宛の豫算にて各千人宛を收容し得るものとし本年內に落成せしむる豫定なりと

●東拓と興信所設立 東洋拓殖會社の土地抵當を紹介せん目的にて徐岳鐵、白允德等は目下大韓興信所を設立すべく運動中なりと

●航路補助金の出願 從來韓國政府に對し沿岸航路の補助を請願せし者は今日迄釜山、木浦及仁川よりの三個所にして木浦及釜山よりの請願は己に許可せられしが昨年仁川の回漕業者たる立石幹外六名より出願せし分は願書に不備の點あり許可せられざりし爲め更らに仁川木村組合資會社代表者木村淸太郞及小山喜八兩名より仁川、群山及九味浦の三航路に就き七日付にて該航路補助金下付の請願を爲したりといふ

●日本と載寧の鐵山 韓國政府が西崎某を下請負人として經營せる載寧の鐵山は一ヶ年五万噸を採掘すべき豫定にして其の鑛脈は頗る豐富なるものゝ由なるが是より採掘せし鐵鑛は悉く日本の枝光製鐵所に供給し居れるものにて同製鐵所は淸國大冶の鐵材と釜石、仙人山等の材料に依り製鐵を爲しあることとなるが內國の鐵材は一朝事ある時の用意と爲し平素は多く之れを使用せざる方針なれば日本政府は今回載寧の鐵山を經營すべく計畫中なりと

●高等女學校入學式 京城居留民團立高等女學校にては昨日午前九時三十分より同校体操場に於て新入學生の入學式を擧行したるが三浦同校長擧行式の辭を述べ次で「君が代」の合唱あり更に三浦校長の誨告、林田民長代理の訓辭及び「金剛石」の歌、入學生總代荻野すゑ子の答辭ありて全く式を了へ夫れより父兄母姉の茶話會ありたり因みに同校の新入學生は一學年は五十七名、二學年は二十六名、三學年は七名なり

●平南寄附金の中止 平安南道にては曩に內部大臣の認可を受け地方公共事業等に充當するため管內各郡より寄附金三万五千圓の募集に着手せしに郡民中其の趣意を誤解して紛擾を來せるものあり龍岡郡の如き郡民集合して郡衙を襲ふ等の椿事を出來したるが今回地方費規則を制定發布せられたるを以て寄附募集の必要なきに至りたれば本月二十日を限り募集を中止するに決し既募集の一萬餘圓は適切なる事業に使用せしむる事となすべしと云ふ

●滿洲漁業と日淸人 滿洲漁業問題は今回淸國政府に於て一般漁業鑑札料を二割減(即三十二圓)と定め在關東州淸國人の沿岸漁業を認むることゝなりたるを以て租借地內の淸國人は他の淸國人同樣滿洲沿岸の漁業に從事することとなり本邦人のみは研究の結果公海漁業を有利と認め本年の漁期は滿洲領海內に出漁せざることに決したりと

●既得漁權者注意 四月一日より實施されたる漁業法及同法施行の規定に依れば此法律施行前に漁業權を得たる者は日韓人共此法律によりて新規出願するを要するものにして例せば從來政府の特許又は舊時代に於て國王より下賜せられたるものゝ如きは四月一日より向ふ一ケ年間に於て手續をなすべく宮內府所管漁基の國有に移され財務監督局より入札に附したるものは其有効期間內に又從來の習慣によりて韓人の漁業權利に似たる性質を有するものを所持する者も此際速に新法に依り出願せざる可らず此等漁業權を既得する者注意すべしと云ふ

●五十八銀行の改名 曩きに百三十銀行と合併の決議を爲したる五八銀行は本店にて本月二日大藏大臣の認可を得たる由なれば京城支店に於ても統監府に申請の上改名の手續を爲すべく來る十日頃には發表の運びに至るべしと云ふ因みに法律上の登記手續きは認可を受けたる日より二週間內に爲すべき筈なりと

●會議所議員の撰擧 釜山商業會議所にては本八日日本人商業會議所議員選擧を執行する由因に委員長は高瀨副理事官なりと

●仁川東拓社員歡迎 仁川官民有志の發起に係る東洋拓殖會社歡迎會は信夫理事官宮木稅關長富田民長穎原會頭田中議長發起となり愈々來る十日午後六時より日本公園八坂樓に於て開催する筈なるが來賓は宇佐川總裁以下九名なりと

●歸還兵の輸送開始 過日釜山に上陸せし交代新兵の各駐屯地に配置了せるを以て愈一昨日より歸還部隊の輸送を開始する事となり第廿七聯隊の一部來着昨日出帆の第三琴平丸にて師團所屬地に向ふ筈なり

●釜山民團稅收入額 釜山にては去る三月末日を以て四十一年度內の民團稅收入額を計上せしに其金額十萬七千圓にて未收入額八千二百卅九圓なり之に對し民團は督促手續執行中なれば遠からず整理の緒に就く

●慶南道船津開港式 慶南道晉州の貨物集散地たる船津にては去る三日盛大なる開港式を擧げ馬山實業家靑年團体等の運動會を催したりと

●韓人警部採用試驗 警視廳に於ては昨七日警察官敎習所に於て韓人警部採用試驗を施行したるが受驗者は十四名にして內三名を採用すべき筈なりと

●郵便局工務掛設置 通信工務掛は從來通信管理局に屬し居りしが四月一日より各郵便局に移屬することゝなりたりと

●農林學校の卒業式 水原なる農林學校にては來る十日(土曜日)午前十時より本科及獸醫速成科の卒業式を擧行する由なり

●「朝鮮」一週年演奏會 朝鮮に於ける雜誌界の覇王たる月刊雜誌朝鮮は宛も先月が第一周年目に相當せしを以て其紀念祝として來る十月十一日の兩日(土曜日曜)午後七時より當地歌舞伎座に於て大演奏會を開催する由且つ餘興として斯道專門家劍舞淨瑠璃の催しある由なれば時節柄定めし盛況なるべし入場券は同雜誌社及び其大發賣所たる日韓書房より發賣すと

●三稅施行の模樣 三稅施行の視察として曩に平壤方面へ出張したる度支部書記官菅田勇氏の談を聞くに平壤の財務署管內に於ける同法の施行は頗る好成績にて韓人側には何等の異狀無き模樣なりと云ふ

●平壤●下水工事計畫● 目下計畫中なる平壤水道工事は豫算二十八萬圓にして其の經費の出所は半額を韓國政府より補助を仰ぎ殘り半額は在留の日本人及韓人に於て負擔すべく日本人側は居留民團稅にて、韓人側は地方稅を以て支出する由なるが目下尙ほ漢城衛生會の如き日韓人の共同事業に爲すべきや否やに就き協議中なり

●浦項の水產出張所● 迎日灣浦項へは豫て朝鮮海水產組合出張所を設くる豫定なりしが愈々今回實設し所長の任命も終りたれば當期以來の漁業は幾層の發達を見るべし

●釜山鎭有志の奮起● 釜山鎭日韓人有志五十餘名は韓國輸出牛の保護に基づく活牛檢查場を同地に設置し以て將來の繁榮を企圖せんと過日其設置方に就き同地日本人山本歌之助外廿九名韓人李民議長外廿五名連署を以て龜山理事官に陳情書を提出せりと

●木浦の水道起工式● 木浦に於ては去る三日水道起工式を擧げたりと

●仁川港の出入船舶● 仁川港に一昨日入港したる船舶は坂仁定期船山頭丸一隻出港したるは神代丸にして目下碇泊中のものは光濟號揚武號櫻井丸の外小蒸汽千葉龍湖三省北國天草住之江の諸號なりと

●ウォルター支配人● 仁川ウォルター商會支配人パーマーン氏は現職を辭し不日獨逸に歸國する筈なりと

●熊谷民團長の消息● 京城居留民團長熊谷賴太郞氏は六日東京出發門司に向ひしとの電報ありたる由

●頭本元貞氏送別會● 統監府員の催しに係る頭本元貞氏の送別會は小松書記官、國分、佐竹兩秘書官、藤波通譯官等四氏發企にて六日花月樓に於て開催したるが來會者は三十五名にして非常の盛會なりき

公人私人

▲戶來秀太郎(勸業模範場大邱出張所技師)六日歸任す
▲本田幸介(水原勸業模範場長)同上
▲大嶋牧太(島根縣々會議員)同日入京三ケ月旅館
▲山崎和三郎(海軍採炭所技師)同日天眞樓
▲內田益(同上)同上
▲菅田勇作(度支部書記官)三稅施行の視察として平壤方面へ出張中の處一昨夜歸任
▲和田維四郎 本朝歸朝の途に就く
▲香阪法務院長 東京名古屋大坂へ出張を命ぜられ昨朝出發す

近事片々

▲近來 宣敎師其他の外國人間に日本人官吏の品性に就て批議する者ありとは事實乎
▲批議 の點は靑樓に泥み淫蕩の風盛也と云ふにありと然らば批議も亦當然ならん乎
▲花柳 の街に豪飲し醜妓を侍らせて自ら快とせるは東洋人の僻反省するの價値あり
▲一時 は漢城政界に於て隱微の間に一勢力ありし孫澤孃も近々歸國するとの事なり
▲孫澤 孃の活躍時代は既に遠く去れり甘味を吸ひ盡くしたる利口の孃は足を洗ふ乎
▲併し 彼女は機を見るに敏なり何時迄居るとも十年以前の夢は再び見る可らざる也
▲亡命 客の中にて趙羲淵は表勳院總裁に有付き張博俞吉濬等も近々何かに有付くと
▲金允 植を中心として躍起運動をなしたる亡命一派も最早完用君に骨を拔かれたり
▲互に 拔掛け功名を成さんとして相排擠するの結果は終に拔骨鷄と化し去れるにや
▲完用 內閣が眼前怖るゝものは一進會也と夫が爲日々秘密會ありとは果して事實乎
▲一時 は李容翊と角逐して漢城政界の大立物たりし李根澤の消息近來沓として斷つ
▲李根 澤は完用君に對して有力なる政敵なりき根澤虎視眈々其隙を覗ふとは事實乎
▲聞く 根澤近來何事か感ずる所ありて活動するの準備を整へつゝありとは唯風說のみにや
▲露國 が戰後西比利亞經營に鋭意從事せるは世の知る所近來の經營頗る見るべき所有
▲黑龍 鐵道の布設も此大經營の一端也而して更に北蒙古の經營にも腐心しつゝあり
▲極東 太守を置かんとするも東亞經營を敏速ならしめん爲也と云ふ左もあるべき也
▲墺國 は終にボスニアヘルツエゴヴヰナの合併を成就せんとす其氣魄多とすべき也
▲米國 は布哇を太平洋策源地となす爲に眞珠灣に船渠を設築すべしと或は然らん也
▲近來 米國の發動は總ての方面にて素晴らしきもの聽ては憲法の改正論も出來らむ
▲米國 の茶稅の廢止は日本の爲に尤も好し併し之を以て全然好意とは見做す可らず
▲或人 尾崎學堂に貴下と戶水氏とは政友會に入るべしと說あり是事實なりやと問ふ
▲學堂 例の如く眞面目に戶水は學識ある故招かるべし余は無能故か何等相談なしと

京城電報

▲寺内陸相訓示 師團長會議を本日參謀本部樓上に開く寺内陸相より國防計畫及兵動員に關する訓示有たり

▲外國語の不要 四十三年度の判檢事第一試驗辯護士試驗に付外國語を要せざることゝなる

▲トロール獎勵金 トロール禁止區域は漁族漁村を保護する目的にて制定されたるが獎勵金は依然として給與さる（以上七日發）

●高等女學校入學式 京城居留民團立高等女學校にては昨日午前九時三十分より同校體操場に於て新入學生の入學式を擧行したるが三浦同校長擧行式の辭を述べ次で「君が代」の合唱あり更に三浦校長の誨告、林田民長代理の訓辭及び「金剛石」の歌、入學生總代荻野すま子の答辭ありて式を了へ夫れより父兄姉の茶話會ありたり因みに同校の新入學生は一學年は五十七名、二學年は二十六名、三學年は七名なり

●釜山民團稅收入額 釜山にては去る三月末日を以て四十一年度内の民團稅收入額を計上せしに其金額十萬七千圓にて未收入額八千二百卅九圓なり之に對し民團は督促手續執行中なれば遠からず整理の緒に就くべしと

●慶南道晉州の貨物集散地たる船津にては去る三日盛大なる開港式を擧げ馬山實業家青年團体等の運動會



●囚はれたる婦人（三）

▲虚榮心の權化

▲床下の草花 尚ほ且つ光明を尋ねて其枝を伸ばす况んや虚榮の幻影に囚はれて誤つて身を墮落界に投じたる彼れ〳〵にに於てをや然り京城に轉賣されだる後の彼れは漸く冷めたき覺醒の風に吹かるゝと共に如何にもして此の苦痛多き暗黑なる生活を脱して幸福多き光明なる新生涯に入らんとするの念を加ゑ來りぬ、かくて彼れは京城の魔窟にある事三ケ月素より多少澁皮の剝けたる面相なるより灯影に寄り來る夏の虫の有象無象のれ客も多かる中に別けて彼女が

▲悪辣なる手腕に現を拔かれて三日にあげず通ひ詰めたる阿呆鳥あり此男假りの名を岡田と稱して現に統監府〇〇部の金筋先生なるが到々れくにを根引して官舍の裏庭に移し植ゑたりこれぞれ國がためには願ふてもなき幸運にて所謂氏なうして玉の輿に乗りたるものとも云ふを得べきか、さればれくには恰かも天にも昇りたらんが如き心地にてしばしが程は朝夕の行ひを愼むは素より夫大事とかしづき居たり

●豆腐屋の暴利 ……手續を踏まずして組合を設け暴利を貪る……

市内の豆腐屋は其數頗る多きも大豆の廉價と雇人賃銀の低廉なるとに依り何れも相當の收益を得つゝあるが昨年櫻井町の泉屋と云へるが大勉强の結果從來一挺五錢の豆腐を四錢に減價したるが原因となり一時は一錢五厘迄に値下げし居たるも暴利に馴れたる彼等仲間にては同業者の組合を組織して價段を一定せんとて屢々其筋に認可の申請を爲したるも桐原南部署長は斯の如き營業が組合を組織し不當なる値段を定むるに至らば日常生活の上非常の影響を來す事とて堅く取つて認可を與へざりしに此程に至り彼等は秘密に組合を組織し一挺五錢に値上げし申合の上一切價下げせず若し違ふ者は相當責を負ふことゝなし以て暴利を貪り居れりとは怪しからぬ事共なり

●小萬の鞍替へ 新町松榮樓に娼名高き小万拍子は當地大〇組に技師として雇はれ居る某と深く馴染み互に末は夫婦と契りしが某は此程所用ありて一時日本へ立歸る事となりしかば小萬は之を南大門に見送り屢の別れを惜みしが其後と云ふ者はトント娼賣も氣に乗らずイッソ廢業して自由な身にならんものと此旨樓主に相談したる結果北米倉町の梅の屋と云へる小料理屋へ前借二百五十圓にて藝妓に住み込み此の金にて松榮樓の借金を濟まし某の歸りし曉きには手鍋提げての世話女房と一日千秋の思にて待詫び居れりと聞かまゝを

●龍山の猫芝居 龍山に數多き藝妓酌婦の全部一團となり近々同地劇場に大芝居を開演する由にて毎夜十二時以后は多數のニャン共一堂に集り大に練習を凝らし居れり而して是れが振付けとして元仁川敷島遊廓消榮樓の主人森某が熱心に付込み居れり彼等が臼大のれ尻を振り廻しての活劇は定めて見物なるべしと開演の日を待ち居れる向も多しとか

●拔刀して亂暴 仁川沓洞にて再昨夜拔刀して亂暴を働きたる男あり此者は鹿見島縣生れにて當時仁川花町二丁目木中要次郎方の店員にて其の夜は同洞韓妓家安在德方に至り買ひ馴染みの菊花を買はんとしたる所病氣にて不在なりしより斯くの如き亂暴を働きたることゝ判明し昨日十日の拘留に處せられたり

●藝妓十三名に灸 新町南山樓第二種藝妓犬塚ふく(二九)三橋ひで(二二)大村かつ(二〇)今泉うた(二二)小山しま(二二)五十嵐とみ(二三)島ひさ(二七)川島うめ(二二)第一樓支店伊藤かめ(二三)酒井あき(二二)石川せい(二三)京須とよ(二五)高野たま(二三)の十三名は一昨日の好天氣に奬忠壇行きと洒落込んだまではよかつたが無斷外出とあつて各々一圓宛の科料に處せられた

●仁川の天然痘 仁川警察署にては過日來天然痘豫防策として韓人部落の戸口調査をなし天然痘患者の有無を調査し居れるが本日までに隱蔽患者を發見したるもの二十二名の多きに達し中六名を京城濟生病院に入院せしめたりと

●清華亭の新顔 神戸産の猶水しげ(十九)は政菊と名乘り佐野こしげ(十八)は多福と名乘りて何れも清華亭より現はれ出たるが政菊は玉菊と稱し多福は琴妻と稱して一時は仲檢(神戸)で振るつた妓なりとか

●暴徒の首魁捕はる 僞生にして暴徒の巨魁なる李殷瓚は其筋の嚴しき注視の裡に隱顯出没暴威を逞ふし居りたるが遂に去る三十一日龍山に於て部下三名と共に警視廳の手に捕はれたりと

●暴徒入京を企つ 京畿道に於ける自稱義兵大將延基浩は徒黨數百名を引率して麻田、積城等の郡に出沒し盛んに民財を掠めつゝあるが本月十五日頃入京の計畫をなしつゝありと

●奏樂堂紀念繪葉書 京城樂友會に於ては過般來奏樂堂の記を一大額面に記し紀念の爲永く之を和將臺奏樂堂内に揭置する計畫なりしが今回總理大臣李完用は多大の好意を以て之が揮毫を快諾し既に一兩日前美事に出來上りたる由にて同會にては之を寫眞に撮り奏樂堂と共に一組(二枚)の繪葉書を作製し來る十七、十八兩日歌舞伎座に於て開會の音樂會場にて實費を以て入場者に頒布する由

●敎物學會の英漢科 本町龜屋横町の敎物學會に於ては今回新たに英語漢學の兩科を設けて隨意敎授を爲す由なるが英學科にありては帝國大學出身田中氏之を擔當し漢文科は渡邊不言氏專ら擔當し傍ら精神敎育に重きを置き青年子弟の薫育に力むと

三面電報

▲暴徒を捕ふ 慶尚臨時駐在日本人巡査一名韓巡査二名は昨六日夜數名の賊徒光州古朋面朴某を毆打拉去したるを追跡して其の二を捕へ被害者を奪還せり

●違警罪二件 曙町六十三土木請負業久森柳太郎(五〇)は街路に放尿して三十錢の科料を受け明治町二丁目六番地料理業林みや(一二)は料理店取締規則違犯として一圓の科料に處せられたり

●三月中京城火葬數 三月中に於ける京城居留民の死亡者中火葬に附せられたる者は總數五十四名ありたるが其詳細左の如し

	大人	小人	死胎見	計
男	九	一四	五	二八
女	七	一一	八	二六
計	一六	二五	一三	五四

●本願寺の釋尊降誕會 本日は釋尊降誕日に付き南山本願寺にては午後八時より佛敎演說會開催在京城各宗派の諸師出席尙ほ余興には琵琶、尺八等ある由

●新町遊廓の檢黴 一昨六日の檢查にて入院したるは京城樓花子第一樓紅梅大桝屋相生南山樓初音の四名なり

●壽座の大奮發 不如歸再演 ▲木戸錢無料●●

初日以來非常の好人氣を博し居たる壽座の合同團一座は如何なる理由にや數日前二三の俳優が舞臺をオチョクリし爲め俄かに人氣を失墜せしかば主任の三輪以大に之を憂ひ連夜幕合に立つて其不都合を陳謝し一面暮い内にては太夫元等と共に座員を戒め大に勵精に努めしかば彼等も茲に悟る處ありて爾來大車輪を以て活躍し居れるが愈々本日より向ふ三日間木戸錢を無料とし尙ほ本日は三輪の片岡中將を以て至る處喝采を博せし不如歸を再演する筈なりと云ふ

三面寸鐵

▼彌生●●の候につれて櫻餅全盛時代は來りぬ人は櫻木花は武士ヨボ連等大に喰ふ可し

▼墜欽●●の音錚然として隣り座敷に聞ふ聞く者怪みて耳を欹つ意外〳〵さる大官とは

▼酒に●●荒み女に溺るゝは移住民の常也這は畢竟他に娛樂なきに依る尤もの次第なり

▼日本●●人は露骨で支那人は婉曲也尤も這は辭令の上而已小便無用を君子自重せよと

▼春風●●春露器財源とは克く淸商の門戶に見る所而して這は秋でも通用する者と見ゆ

▼門開●●萬福來地拂黃金出這は韓人の門戶に見ふる文句也脅かすも程度のあつた者也

▼更に●●豪氣なるは元と西小門内侍衞隊入口の貼紙なり曰く運籌帷幄內制勝千里外ざ

▼藝者●●は客に侍る間こそ權威を保つもの也ソレ以外には三文の價値なしあなかしこ

▼氣候●●は長閑なれど胸は心配なりとはさる統監府員の嘆く所此の仁淘汰さると見ゆ

▼泥硯●●筋で招牌に誤りのある店あり其多くは諸雜貨也雜貨といへば諸の字は無用也

▲ダカラ御用心なさいと法務院から各新聞社を通じて諸君に注意したでは有りませんか以後注意なさい(係り)▲京城日報の觀光團はナカ〳〵好景氣い樣である好結果を收めしめたいものです(エムシイ生)▲御心配は然ることと乍ら御懸念には及ばぬ(小僧)▲紳士錄の發行は私共小商人に取りても甚だ有益便利です此次は仁川の方も願ひます(仁川商人)▲たかつきさんに敎へて上ます忘れ樣と思ふから苦痛なのだ成功すると爲ぬとに關係なく依然として戀ひ慕うて居ればよいではないか他人に累ひせぬ戀は決して無理に諦め樣と煩悶するには當らぬ若し夫れ出齒り根性が萠したら城壁の石に頭を打きつけて死んで終ふさ(堂太)

●韓語獨習

日語	韓語
春、になつて、花が咲きました	ボミーティヨー、コツチ、ピーヨッソ
花を、折て、花瓶に、挿せ	コッチエル、コッコ、フハーピョン、エー、コチヨラ
櫻花は、誠に、見事であります	エンホアヌン、チャム、ポアムチュツ、ハオ
梅花は、實に、懇ばしいです	マイフアヌン、チャム、ヒャンギー、ロプソ
花の色が、見事であります	コツピチ、ポアムチユツ、ハオ

平民文庫

▲本町〇〇吳服店の内方さんは元黑人ですが此の頃店に立つて居られませぬでたれ使ひに行くによろしいです(小間使女)▲長谷川町の壽亭の云ふ小料理屋の主人は實に不埒である此の頃の不景氣に客が少ないものだから其の腹立ち紛れか不逞の徒を集めて居いて素見の客に難癖つけて喧嘩を仕掛ける私も去る五日の晩素見方が惡いと云ふので既でのことに挾られる所(恐怖生)▲此の頃京城に掏摸が入り込んだと申すのは本當です現に妾は五日の晩本町から太平町迄歸る間に袂に入れて置きました金を盜られました(買物女)

●天氣豫報（自七日午後六時至八日午後六時）

西の風晴

六日 最高溫度（華氏）五四、三 最低溫度 三九、〇

本日午前六時韓國氣象概況 高氣壓は滿洲附近にありて北西の風吹き一般に晴天なり

鮮新德用燃料 無烟煉炭
●特色 火付強く火力耐久價格低廉
●用途 竈、鑪、暖爐、諸用に適す
● 周防德山海軍省煉炭所東隣 谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城領事館通 電話六〇三番 巴商會 韓國一手販賣 京城太平町二丁目

▲無料紹介欄▼

人事部

求妻 友人血統正、高等教育あり、實業家下二十三以上の不幸淑女を求む、寫眞交換妨げなし（花柳界に關係なき者） 姓名在社（二一一）

雇被 たし女年四十內地の田舍にあり請雇れば直に來る保證人あり 氏名在社（二一五）

白毛に淡玉子色の斑（去年八月生）名次郎口側及四足毛拔け居る小犬見當りし人は御一報願上候相當御禮可仕候 明治町二の七五 辯護士岩田（二一〇）

英語教授 實用會話、作文、讀書力の養成を希望の來る何時にても入學を許す（但し午后七時より初む） 大和町三丁目六十八 英語研究所（二一七）

●十三歲より十八歲迄の見習弟子一名雇入れたし 明治町 中尾軍刀店（二一六）

下女至急入用 廿四五歲より四十歲位迄給料十圓まで 氏名在社（二一八）

新內教授 致します 京城壽町三丁目 水津（二一九）

女中入用 裁縫の心得ある者廿五歲以上の婦人を望む 旭町一の六十 旭町競賣所（二二〇）

物件部

電話 貸したし 氏名在社（二二三）

電話 買りたし 氏名在社（二二四）

自轉車 一臺買ひたし 氏名在社（二二二）

廣告

電話九百〇二番 內科 婦人科 外科 富久尾病院 京城旭町二丁目 電話九百〇二番

電話開通 九九〇 京城大和町二丁目 靑雲亭

電話開通九三三番 旭町四丁目 森安洋家具工場

待合 花月 京城南山町一〇二病院前 電話二五一番

明治廿年七月創立 ●京城代辨店 山口吳服店 電話九番
資本金一千萬圓 東京火災保險會社 ●事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

開店五週年に付大賣出し
謹啓陳者時下陽春の候各位益々御淸榮奉大賀候降て弊店儀開店以來茲に五ケ年に相當し其の間大方諸賢の御愛顧により日に月に繁榮に赴き候段難有奉謝候就ては平素の御眷顧に酬へんが爲め
三月廿五日より四月廿四日迄滿一ケ月間
割引の減價を以て販賣仕候間何卒多少に不拘御用命仰付下され度偏に奉希上候

美術書畫 襖、壁、天井張 京城壽町一丁目 桂萬吉

電話番號 一二一九番
支店長室用トシテ右電話新設候ニ付此段謹告候也
三井物産合名會社 京城出張所 電話 一一七二 一一七六 一二一九

電話 開● 九五五番 生蕎麥 東京庵 壽町三丁目

電話開通九三八番 作野香淸園茶舖 京城南山町四丁目 花月樓筋向ふ

電話開通 千五十番 京城本町一丁目（民團役所前） 増本好三郎事務所

電話開通 九六九番 疊替新調表 横井疊店 京城壽町三丁目（壽座前）

電話開通 一〇四二 牛豚雞肉 石田精肉店 京城明治町二丁目

移轉擴張 入院隨意 菅醫院 西小門通六番戶（度支部裏門脇）

電話開通 九六〇番

白酒荷着仕候 韓國京城本町四丁目 前田商店（電話百三十七番）

各室の淸潔と眺望の佳絶なるは時節柄殊に恰適なる御下宿なり
高等下宿 三友館
今般左記の場所に移轉の上更に設備を整へ一層擴張仕候間倍舊の御引立を奉希上候 四十七番戶（元澤田館跡） 京城南山町一丁目 三友館（電話六四五番）

新荷着廣告
歐州各國帝室御用品 品質優等、意匠艶麗、
G.D.印トルコ金口煙草（百本入 十本入）
外各種 百本入、二十本入、十本入とも
右今般多數入荷致候に付精々廉價發賣致候間多少に不拘御用命願上候
追て見本品並に價格表は御申越次第御送附可申上候
直輸入元 仁川本町一丁目 トルコ煙草商會 電話（七一五番）

新聞及雜誌 取次 竹中彦太郎 電話六七番

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元 京城本町五丁目
大上商店（電話二五一番）
和洋酒、精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

●廢物利用●
一金口莨空箱買入れ申候 但百本入に限る
上等金口トルコ莨發賣所 京城本町四丁目 パ子リス商會

春の日の何となく長閑に相成申候折から野邊の散歩や遊山の心地よさ殊に興味の多き此頃なれば皆々樣方の御便利を圖り風味佳良は勿論大勉强致し候間何卒御贔負の程祈り候
すし、うなぎ 御料理、山遊折詰 明治町一丁目 松善

祠田組

會席御料理 本町八丁目 富士見樓

じんぞう病
多年の重病も忽ち全治する妙藥あり同病困難者は彼れ是れ迷はず住復端書にて御照會あれ詳報す ●播磨國明石町 大津屋商店

○建築業 京城本町七丁目別府隣 中川卯之助 電話六九一
○多年の經驗にて建築の完全を期し料金は便宜御相談可申候也

仁川宅支店

▲淸潔の下宿▼
客室の淸潔と調理の美味と御取扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡） かめ屋

▲懇切の下宿▼

日本郵船株式會社 瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店 仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●大連行（船客御斷） 新瀉丸 月日正午時出帆
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 四月十一日後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 四月廿二日正午時出帆
●大連、大沽、牛莊行 山東丸 月日前五時出帆
●大連、大沽、牛莊行 酒田丸 四月八日正午出帆
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 立神丸 四月日午後
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢 金一ヶ月前金四十五錢 三ヶ月前金壹圓廿五錢 六ヶ月前金貳圓四十錢 一ヶ年前金四圓五十錢 郵稅一ヶ月金十錢
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回四十錢 廣告は五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山三郎 印刷人 高木久馬太 發行所 京城四門通西小門通 京城新報社 電話六六三番